

1 抽選会の質疑応答

抽選会で御質問のあった事項について、以下のとおり回答いたします（抽選会当日に回答した内容から一部修正した部分もあります。）。

	質問	回答
Q 1	交付決定はどのようにして知ることができますか。	申請者本人に通知書を郵送します。
Q 2	今年度は、何人が補助金をもらえない計算になりますか。	抽選で決まった順位どおりに交付決定すると仮定した場合、34位の方までは申請どおりの金額を交付し、残った端数を35位の方に交付します。それ以降の順位の方は、大変申し訳ありませんが、申請却下となります。
Q 3	個人と事業者を同じ予算枠にすると、事業者の限度額が大きい分、個人の申請者に不利になるため、予算枠を別にする等の対策が必要ではないでしょうか。	次年度の検討課題とさせていただきます。
Q 4	申請は空調機器の設置完了が前提と聞いており、要綱にも「設置した」と書かれていますが、全員の設置を確認しているのでしょうか。	抽選会では「空調機器の設置完了が要件でないため、確認はしていない」と回答しましたが、購入先である登録事業者に対しては、誤って空調機器の設置完了を前提とした内容の通知をしておりました。 この事業は、昨年度、受付の開始直前で、設置前での申請を可能とする運用に変更し、登録事業者はその旨を連絡して始めました。令和6年度も同様の運用で実施する方針でしたが、登録事業者への通知について、必要な修正が漏れてしまい、一部の登録事業者とそのお客様に御迷惑を掛けてしまいました。次年度以降は、同様な事態が起こることのないよう努めてまいります。

Q 5	工事が完了している申請者がいる一方で、補助金が出なければ購入をキャンセルできる条件の申請者もあり、工事完了前に申請を受け付けるのはおかしいのではないのでしょうか。 また、前提条件が不条理の中で抽選等を進めるのはおかしいのではないのでしょうか。	キャンセルの可否は確認しておりませんが、前述のとおり、登録業者に設置完了を条件とした通知を送っていた中で、設置完了前の申請（キャンセル可能な申請）を受け付け、混乱を招いたことについては、大変申し訳ありませんでした。 また、一部の登録事業者では、工事完了後の申請のため、「お客様に本事業の活用を周知しなかった」との事例もありました。次年度は、こうした御迷惑を掛けることのないよう努めてまいります。
-----	---	---

※ 本事業は、国の交付金の活用を前提とし、申込みの総額が市の予算措置額を上回る事態を想定していたため、「抽選の結果、補助金を交付できない場合がある」点を周知しておりました。

予算を継続的に追加できれば公平に対応することも可能ですが、抽選の結果については御理解賜りたいと存じます。次年度以降は、例えば、補助金の限度額を見直し、交付件数を増やすなど、制度の見直しも検討してまいります。

2 登録業者の皆様へのお知らせ

質疑応答の回答内で少し触れておりますが、令和6年度の事業を開始するに当たり、昨年度に登録業者として御協力いただいた店舗に対し、今年度も御協力いただきたい旨を伝えるため、通知を送付しておりましたが、当該通知に誤りがあったことが判明しました。

誤った情報をお伝えしたことで、登録業者の皆様にご迷惑をお掛けしたことにつきまして、謹んでお詫び申し上げます。

また、今後、このようなことがないよう、市と登録業者の皆様でお話合いの場を設けることを検討しておりますので、お力添えいただければ幸いです。